

10月2日

テーマ：ラザロの復活

聖書箇所：ヨハネの福音書11章1～46節

◆今日のみことば

イエスは言われた。わたしは、よみがえりです。いのちです。わたしを信じる者は、死んでも生きるのです。

ヨハネの福音書11章25節

◆メッセージ

ベタニヤという村にマルタさんとマリヤさん、そしてその兄弟ラザロさんがいました。ある日、ラザロさんはひどい病気にかかり、死にそうになりました。このことを聞いたイエスさまは、すぐにはベタニヤに行きませんでした。なぜでしょうか。「この病気は死で終わるだけのものではなく、神の栄光のためのものです・・・」(4節) イエスさまを信じる人には神さまが永遠のいのちを与えてくださり、死は恐れるものではないことをみんなに伝えるためでした。

イエスさまがベタニヤに着いた時、マルタは「主よ。もしここにいてくださったのなら、私の兄弟は死ななかつたでしょうに・・・」(21節) と悲しかったです。人は死ぬとどうなるのでしょうか。体がどんどん冷たくなって、動かず、話をする事もできません。死んだ人はお墓に入られます。マルタさんとマリヤさんは、悲しみに泣き続けていました。もう、ラザロさんに会うことができない・・・悲しい気持ち、さみしい気持ちでいっぱいです。ラザロさんを取り返すことができない、とてもつらい気持ち。愛する家族やお友だちが亡くなったら、こんな気持ちで胸がはりさけそうになります。人が死ぬ、というのは、一番つらいことです。



イエスさまは「わたしは、よみがえりです。いのちです。わたしを信じる者は、死んでも生きるのです」(25節) と言いました。死んで4日もたっていたラザロさんのお墓に行って、「ラザロよ。出て来なさい」とイエスさまが大声で叫ぶと、なんと！お墓からラザロさんが出てきました！神さまが人を生き返らせる方のある方であることを示すためでした。

イエスさまは私たちの罪のために十字架の上で死んだ後、よみがえりました。そのことで私たちに永遠のいのちが与えられることを教えてくださいました。イエスさまを信じる人は誰でも救われて永遠のいのちをもらって天国でずっと生きることができます。だれでもイエスさまを信じればまた天国で会うことができます。イエスさまを知らないお友だちや家族、周りの人たちにイエスさまを信じるように伝えましょう。

◆お祈り

お友だち、家族、みんなと天国でまた会いたいです。イエスさまを信じるように伝えられるように助けてください。

(清水聖書教会牧師 韓在國)